



2006年 10月 題本

共感を覚える本と手を結ぶ  
作/小林 伸江

[小林 伸江 さん]  
その時々的心情と響き合う本とめぐり合い、明日への糧としたいです。

[西沢まもるの一言]  
腹が立ってくる本ってありますよね。買って損をした、という本が。



2006年 7月 題願う

婆さまの健康を願い犬を飼う  
作/中村 直昭

[中村 直昭 さん]  
犬に引張られてウォーキング。これが健康維持に得策だ。婆さまよ、一日も長く楽しく安心して生きてほしい。

[西沢まもるの一言]  
「犬と歩けば脳にいい!」(大島清著)という本が売れているらしいですね。犬をダシに大いに歩きましょう。

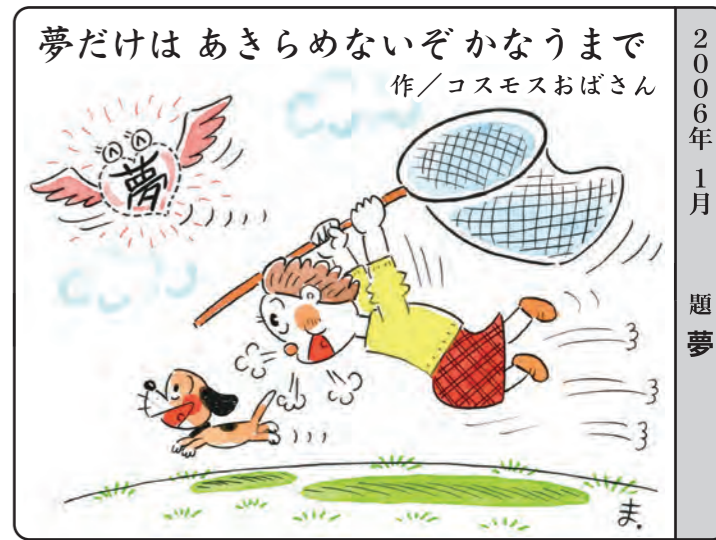


2006年 4月 題挑戦

イナバウアー 挑戦したら医者通い  
作/悠遊

[悠遊 さん]  
歳を忘れて真似をしたところ、大事には至らなかったが転んでしまい、大笑いされました。無理はいけませんね。

[西沢まもるの一言]  
悠遊さん、日本中がイナバウアー一色でした。



2006年 1月 題夢

夢だけはあきらめないぞかなうまで  
作/コスモスおばさん

[コスモスおばさん さん]  
子供の頃からの夢が表現できず、あきらめないで来たのですが…。子供だけには叶えさせてあげたい気持ちで投句しました。

[西沢まもるの一言]  
夢を持ち続けるのが若さを保つ秘訣です! ゼッタイです(と自分にも言い聞かせています)。



2006年 11月 題酔う

酔眼に帰るべき家二つある  
作/堀松白

[堀松白 さん]  
百薬の長とも言うが、処方間違えば身をも滅ぼす。牧水の心境には遠く及ばぬが、自戒でもある。

[西沢まもるの一言]  
私はお酒がダメなんです。酔うとこんないい事があるんですね。いいなァ。



2006年 8月 題夏休み

みんな蝉に起こされ体操に行く夏休み  
作/小林 伸江

[小林 伸江 さん]  
蝉に起こされ、寝ぼけ眼でした体操。皆勤賞の鉛筆がもらえるよう、蝉が応援してくれました。

[西沢まもるの一言]  
私自身のこどもの頃を思い出して、この句を選んでしまいました。ねぼすけでした。



2006年 5月 題旅

チョンマゲの風情訪ねて城下町  
作/てんとう虫

[てんとう虫 さん]  
古い街並みを眺め歩きながら、昔の人々の暮らしを想像出来るのも、旅の楽しみの一つですね。

[西沢まもるの一言]  
近すぎる旅ですが、私は松代の街を歩くのが気持ちが落ちつきますね。



2006年 2月 題感動

忘れてた  
へそくり見つけ感動し  
作/花桜

[花桜 さん]  
思わぬ見つけ物に歓声を上げてしまう程の喜びは、何とも言えない気分。あくまで家族には内緒に。私だけの楽しみですから。

[西沢まもるの一言]  
出てきたへそくりの金額で、感動の度合いが違うのでしょうかね。



2006年 12月 題納める

団塊はまだ年貢を納めぬぞ  
作/岡田 裕子

[岡田 裕子 さん]  
団塊の世代もいよいよ定年を迎えます。仕事や子育てなど一段落つき、これからが本番。やりたい事が山程あります。

[西沢まもるの一言]  
団塊の世代の皆さん、鼻水をぬぐってもうひとふんばりしましょうよ。



2006年 9月 題実る

実るほど誇らしげなり 案山子君  
作/北沢 忠雄

[北沢 忠雄 さん]  
“実るほど頭を垂れる…” 私なら案山子君の様に誇らしげに自慢したいです。

[西沢まもるの一言]  
ずっと前、インドネシアでも案山子を見ました。カカシさまは偉大です。



2006年 6月 題時計

三分がこんなに長い 砂時計  
作/鎌田 洋子

[鎌田 洋子 さん]  
もう三分、まだ三分。感じ方は色々。六月十日は時の記念日。時間も人生も後戻りできません。大切にしたいです。

[西沢まもるの一言]  
昔、国民学校で先生になぐられていた時の3分は長かったですね。私、昭和10年生まれ。



2006年 3月 題春

露天風呂これが一番 おらが春  
作/てんとう虫

[てんとう虫 さん]  
芽吹きの頃、山の景色を眺めながらのんびりと…。自然を肌で感じ、私には贅沢で幸せなひと時です。

[西沢まもるの一言]  
桜が咲いている露天風呂があったら最高ですね。